

## 2020年合格速報

2020年3月18日時点

- ▶ 医学部医学科 **名古屋市立大学2名** (内1名準会員) / **愛知医科大学1名** / **藤田医科大学4名** (内2名準会員) / **スロバキア国立コメニウス大学予科1名**  
**国際医療福祉大学1名** ※3/18現在私大医学部数校補欠合格待機中
- ▶ 一般学部 **名古屋大学工学部化学生命工学科合格1名** (準会員) / **名古屋工業大学工学部物質工学科合格1名**  
**東京理科大学基礎工学部合格1名** / **南山大学外国語学部合格1名** (準会員) / **南山大学法学部合格1名**  
**立命館大学生命科学部合格1名** / **近畿大学農学部1名** / **近畿大学生命理工学部1名** / **専修大学商学部合格1名**  
**日本大学経済学部合格1名** / **愛知医科大学看護学部合格1名** / **藤田医科大学看護学部合格1名**

セントメプレス  
2020年卒塾生

### チューターご紹介 (曜日順)

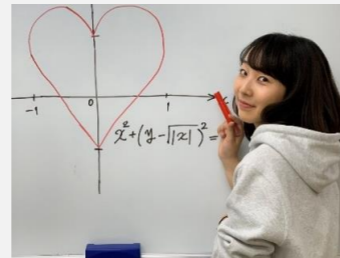
月曜日担当



**大野卓男** (オオノ タクオ)  
名古屋大学医学部3年

こんにちは！セントメプレスにて月曜日のチューターを担当しております、名古屋大学医学部3年生の大野卓男です。大学では水に浮きやすいからという理由だけで水泳をやっていますが、なんだか泳がなくてはならないので、心が折れそうです。そんな私から皆さんに伝えたいことが一点だけありまして、それは「普段」の自習用のノートor答案の作り方、使い方です。例えばチャートの例題や物理、化学の問題を解くとき、キツキツに詰めて書いてはいませんか？あるいは計算やミスをして間違えた部分を消しゴムで消してその上に書いたりしていませんか？「ノートは使ってなんぼ」という格言があるように、特に初めて解く問題はなるべく大きくノートを使いましょう。しかし、受験においては「解答用紙や問題用紙の余白は無限にはない」ということを理解してください。いかに限られたスペースに必要な情報だけを取捨選択し書き込むかが重要となってきますので、時間を計って演習をするときなどは逆に限られた枚数のみを使ってといてみるのもいいかもしれません。

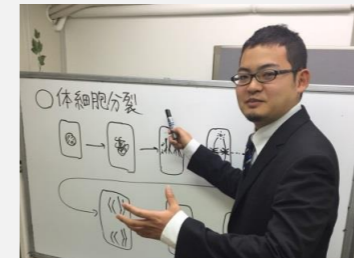
水曜日担当



**山下瑞貴** (ヤマシタ ミズキ)  
愛知医科大学4年

こんにちは！チューターの山下瑞貴です。現在、愛知医科大学医学部に通っており、今年の春から4年生になります。私は、中学の時から部活でバレーボールをやっています！中高は精神的にも体力的にも厳しく、きつと100回くらい、やめたいと思いました。でも、大学は程よく緩いので、なんだかんだ9年も続いています！周りの人や環境に恵まれ、充実した学生生活のなかで、協調性、思いやり、自分らしさなどたくさんのことが得られました。特にその中で最も大きなものは、バレーで得た忍耐力だと感じます。この忍耐力を勉強に生かされたのが、医学部合格に繋がったと思うと、中学からの部活の顧問にも感謝すべき部分があるなあと感じる今日この頃です。そんな私が、皆さんにお伝えしたいことは、たくさん質問に来てください！ということもありますが、もう一つ、いろんな経験をしてください！ということ。受験も浪人も、終わってみればきつといい経験だったと思えるでしょう。応援しています！

木曜日担当

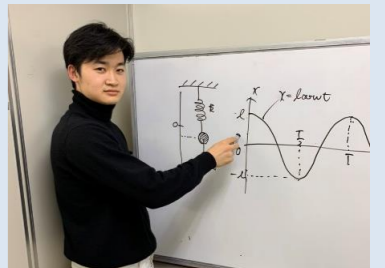


**櫻井悠樹** (サクライ ユウキ)  
名古屋大学医学部5年

どうもこんにちは。チューターの櫻井です。ラ・サール高校出身で、2年の浪人を経て名古屋大学医学部医学科に入学しました。理科の選択は生物・化学で、得意科目は生物、苦手科目は数学でした。自分の受験生時代を思い返してみると、センター試験でなかなか高得点が取れなかったり、数学がなかなか伸びなかったりしてかなり苦労しました。しかし、時間をかけた甲斐あって、受験に必要な知識はもろろんのこと、それ以外にもたくさん学ぶことができました。その中でも、最も受験生たちに伝えたいのは「身の程を知るのが大事」ということです。これは、自分の力を過信しないということもありますが、卑下するのもしけないということも含みます。自分の力量の見積もりが高すぎても低すぎても目標にどう到達していくかというプランニングができません。計画が立てられれば、あとはそのとおりに行動できれば、成功の確率は跳ね上がります。したがって、受験生たちには、自分の力がどの程度なのか、客観的に分析してもらいたいです。もし自分の力だけでというのが難しければ、我々チューターも力を貸します。どんどん質問しきて下さい。楽しみに待っています。

5月より新メンバーです！

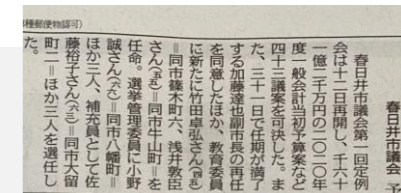
**加藤康紘** (カトウ ヤスヒロ)  
名古屋市立大学医学部1年



こんにちは。チューターでメプレス0Bの加藤康紘です。現在、名古屋市立大学医学部1年生です。東海高校出身で、中高は野球に没頭、2年間浪人し、2年目の浪人生活をここメプレスで過ごしました。理科は物理・化学、社会は日本史。質問はどんなものでも構いません、どしどし来て下さい。ここから、自分が受験時代に意識していたことを2点書きます。まず1つ目は自分を客観視できるように努めるということです。その為に、最終的な目標を決め、自分の現状(勉強進捗具合や模試の成績、精神状態など)を定期的に書き、見返していました。そうすることで、常に合格までの距離を把握できたとします。2つ目はアドバイスに関してです。勉強していると、多くの方がアドバイスをくれると思います。そのアドバイスは全て取り入れるのではなく、一度しっかりと受け取り、内容を分析し、取捨選択していました。アドバイスが自分に合うか否かの確認はしっかりと行うべきだと考えたからです。最後に一言。結局、自分の行きたいところに行けるかどうかは、本当に自分次第ということです。メプレスの先生達は素晴らしい方々ですが、ただ授業を受けるだけで満足しては何の意味もありません。毎授業、疑問点を明確にして臨み、どんどん質問して下さい。個別であるメリットを最大限に活用して下さい。自分次第なんです、本当に頑張りましょう。最大限サポートします。

### プリティ中野のモノローグ

医学部志望であろうとなかろうと、入会時の成績が良からうと悪からうと、ご信頼ご期待にお応えできますように、一人ひとりの置かれた状況とこれまでの経緯、そしてこれからの目標と可能性を総合的に判断し、それぞれに最適の指導を目指しております。しかしながら、その判断は固定されるべきものではなく、状況の変化とともに柔軟に見直していくべきものであります。どうか、保護者の皆様からもご要望、ご指摘を頂戴し、それを指導に生かしていくために、保護者と塾といった垣根を取り払ったお付き合いをさせていただきたく心からお願ひ申し上げます。なお、当校顧問竹田卓弘弁護士が春日井市の教育委員に選ばれましたので、ご案内させていただきます。



令和2年3月13日  
中日新聞近郊版16面